赤松金芳著「新訂和漢薬」より

生薬名 茴香

新訂和漢薬 記載頁

193

基源 セリ科ウイキョウ Foeniculum vulgare Mill. の葉, 果実.

部位 葉;

果実: 酒浸炙炒[福田方]

作用 葉:

辟熱[千金方].

果実:

果実:

無毒.調中,開胃[証類本草,本草網目,満洲漢薬],止痛[証類本草,本草網目],下気,煖腎[満洲漢薬],破気,駆風,鎮痙,止痛,解凝[和蘭薬鏡].

応用 葉:

霍乱,口臭[千金翼方],心腹中不安,小腸気,悪毒,癰腫[本草網目].

果実:

霍乱[新修本草, 千金翼方, 証類本草, 本草網目], 蛇傷, 諸瘻[新修本草, 千金方, 千金翼方, 証類本草, 本草網目], 育腸気, 腎労, 陰疼, 脚気, 嘔吐[証類本草, 本草網目], 癩疝[証類本草, 本草網目] (=疝痛[和蘭薬鏡, 満洲漢薬], 腹痛[和蘭來鏡], 腰痛[満洲漢薬], 胃虚, 欬嗽, 痛風, 傷冷毒[和蘭薬鏡].

処方 果実:

金鈴円, 蘹香散〔疝痛〕, 金鎖丹〔失精〕, 通気散〔耳聾〕, 神妙列仙散〔傷酒〕

備考